

令和7年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業「終戦80年及び事業実施35周年記念洋上慰霊」のご案内について

拝啓 平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、一般財団法人日本遺族会から令和7年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業で洋上慰霊の実施計画の概要を決定した旨の通知がありました。

つきましては、次のとおり洋上慰霊が実施される予定となりましたので、ご案内申し上げます。

なお、本事業は単年度事業として、毎年厚生労働省が事業実施主体を公募し、補助金交付団体を決定します。そのため、本計画の実施については令和7年度に日本遺族会が補助金交付団体と選定（令和7年3月末頃選定予定）されてから正式決定となりますので、ご承知おき願います。

敬 具

記

1 訪問団の名称について

戦没者遺児による慰霊友好親善事業「終戦80年及び事業実施35周年記念洋上慰霊」

2 目的及び事業実施計画概要について

別添1の実施計画概要（案）参照

3 参加費及び協力金

参加費 10万円

但し、洋上慰霊に1回参加した者は2万円、2回参加した者は3万円を別途、協力金としていただく。

なお、付添者の費用は概ね37万円前後（現在調整中）の予定です。但し、青年部の付添者には費用の3分の1の補助があります。

4 日程案及び航路図等について 別添1、2を参照

(1) 日程案等

- ・実施日 令和7年6月3日（火）～6月13日（金）予定
- ・期間は10泊11日（全船中泊）とし、神戸を発着とする。

(2) 慰霊祭等

- ① 洋上慰霊祭 10回（全戦没者追悼式を含む、予定）
- ② 平和の語り部研修会 6回程度
- ③ 懇談会・友好親善（マニラ寄港時船内にて）

5 参加者について

(1) 団長 水落 敏栄 日本遺族会会長

(2) 来賓 所管省庁（厚生労働省担当部局）代表（挨拶）

(3) 参加者（各都道府県：原則7名程度、その中から世話人1名を推薦させていただきます）

(4) 総勢 約320名（事務局、添乗員含む）

6 選考方法及び参加申込について

(1) 選考方法

先の大戦において父等を海上で亡くされた戦没者の遺児を参加資格とし、参加者の選考については、以下の基準により原則7名程度（付添者を含む）を決定するとともに、参加者の中から1名の世話人を日本遺族会へ推薦する。途中下船は不可であり全日程に参加出来る者とする。

参加者の優先順位は次のとおりとする。

順位1位 航海上の該当遺児で洋上慰霊に初参加者。

2位 航海上以外の海上（北方海域、東南海域、南西海域等）の該当遺児で洋上慰霊に初参加者。

3位 順位1位で付添者（青年部）のある者。

4位 順位2位で付添者（青年部）のある者。

5位 順位1位、2位で付添者（配偶者等）のある者。

6位 航海上の該当遺児で過去の洋上慰霊に1回、参加した者。

7位 航海上以外の海上（北方海域、東南海域、南西海域等）の該当遺児で過去の洋上慰霊に1回、参加した者。

8位 順位6位、7位で付添者（青年部）のある者。

9位 順位6位、7位で付添者（配偶者等）のある者。

また、本洋上慰霊は実施地域として洋上以外にフィリピン諸島を含んでおり、定員に満たない場合は同地域の関係者や過去の洋上慰霊に2回参加した者についても参加を認める場合がある。なお、本事業初参加者を優先する。また、付添者は3親等内遺族を基本とする。

参加にあたっては参加者の健康状態を確認するとともに、長期間の航海並びに旅程に対し、体力的に可能かどうかを判断する医師の証明書を参加決定後に提出願う。

(2) 参加申込期間

令和6年7月～令和7年1月末（予定）

(3) 参加申込先

岡山県遺族連盟事務局まで。折り返し、「参加申込書及び個人情報開示請求書（陸軍・海軍）」を送付します。

7 その他

宿泊等の船室は、1部屋2名を原則とする。（2階～4階フロア）

なお、5階のデラックスルーム等を希望される方は、前もって相談して下さい。但し、希望者には参加費の他に別途料金を徴収する。（費用については、現在調整中）

<問合せ先>

岡山県遺族連盟事務局 担当：増本、渡邊

電話：086-271-7175 FAX:086-271-4815

メール：okaizoku@cameo.plala.or.jp

戦没者遺児による慰霊友好親善事業 終戦80年並びに本事業実施35周年記念「洋上慰霊」の実施計画概要

令和6年7月

1 目的

戦没者遺児による慰霊友好親善事業は、遺児が亡き父の終焉の地を巡り慰霊を行うと共に凶らずも戦渦に巻き込まれた旧戦域の方々との友好親善を通して、恒久平和な社会の構築を願う意識を醸成するもので、同事業は平成3年度より政府の補助金等を受け、本会が実施しております。

しかし、遺児の高齢化による参加者の減少を受け、令和7年度で同事業を終了することといたしました。

そこで、終戦80年並びに本事業実施35周年を迎える令和7年度は、これを記念し、かねてより海に鎮まる御霊に慰霊の誠を捧げたいとする要望が多かった洋上慰霊を計画、実施します。

洋上慰霊は船舶借り上げ費用が高額のため、過去2回しか実施できていない（本事業20周年（平成22年度）、終戦70周年（平成27年度））ため、参加できなかったご遺族からも今一度実施してほしいとの要望が多くあがっています。

今回計画した地域は前々回同様、外洋巡拝であり通常実施することが困難な地域です。海に鎮まる30万余の御霊の慰霊を行うと共に、旧戦域の方々との友好親善を目的とし、加えて遺児の記憶を次世代へ伝承する語り部の育成に努める。

2 参加資格 先の大戦において父等を海域で亡くされた戦没者の遺児を優先する

3 選考基準 本会選考基準による。 但し、今回実施する海域の方を優先する

4 参加費 10万円（但し燃料費の高騰や円安等諸般の事情により値上げする場合がある）
その他、過去に同事業に参加された方には協力金を別途いただく

5 実施時期及び期間

- ① 実施時期 令和7年6月上旬
- ② 実施期間 約11日間（集合日等含む）

6 運航航路等

予定運航航路 神戸発着 右下の航路図参照

7 洋上慰霊祭予定地（海上）

東シナ海、台湾・バシー海峡、フィリピン西方・東方、南薩諸島沖等

8 募集人員 各支部 原則7名程度 計 約300名
※各支部参加者の中から1名の世話人を推薦いただく

9 船の概要

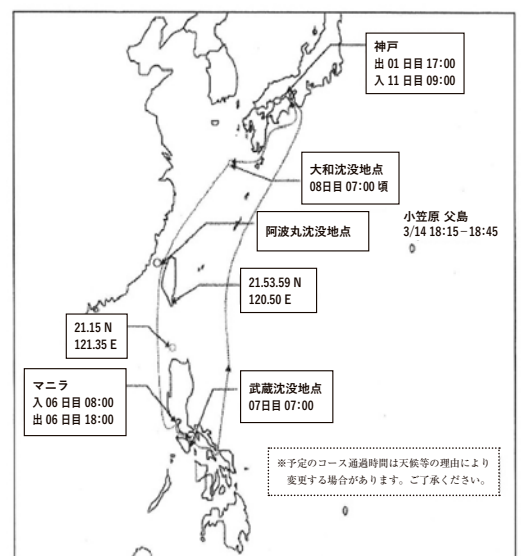
総トン数・約2万トン超、船級・国際遠洋級（日本国籍船）

10 集合場所及び解散場所、国内交通費等
集合場所・解散場所は、兵庫県とする（予定）
集合場所にて、結団式及び渡航手続き、説明会を行う
集合場所及び帰郷する交通機関等の交通手段の手配は各自で行う
（経費は個人負担・旅行業者を斡旋）

11 申し込み方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ

12 問い合わせ先

一般財団法人 日本遺族会 事業担当
電話 03-3261-5521 FAX 03-3261-9191



※ 本事業は厚生労働省が事業実施主体を公募し、補助金交付団体を決定する。このため本事業の実施については、令和7年度に本会が補助金交付団体と選定されてからとなります。また、実施時期、日程等は相手国の事情や船舶借上げ等の都合により、変更や取止めとなる場合がありますので、予めご承知おき願います。

洋上慰霊日程 (案)

令和6年4月20日 現

| 日次 | 月 日 | 発着地等 | スケジュール |
|----|--------------|----------------------|--|
| 1 | 6月3日 (火) | 神戸 (日本) | 午後：受付後、船内へ 結団式及び渡航手続き説明会 17時頃出港予定 |
| 2 | 6月4日 (水) | 終日航海 | 午前 講演 水落会長 ① 午後 九州沖洋上慰霊祭 |
| 3 | 6月5日 (木) | 終日航海 | ② 午前 東シナ海洋上慰霊祭 午後 講演 平和の語り部 |
| 4 | 6月6日 (金) | 終日航海 | ③ 午前 台湾海峡洋上慰霊祭 午後 講演 平和の語り部、事例等 |
| 5 | 6月7日 (土) | 終日航海 | ④ 午前 台湾・バシー海峡洋上慰霊祭 ⑤ 午後 ルソン島西方沖洋上慰霊祭 |
| 6 | 6月8日 (日) | 午前 マニラ 入 夕刻 マニラ 出 | 午前 マニラ入港：9時頃 全戦没者追悼式 午後 懇談会：友好親善 (船内にて) |
| 7 | 6月9日 (月) | 終日航海 | ⑥ 午前 シブヤン海洋上慰霊祭 午後 講演 水落会長 |
| 8 | 6月10日 (火) | 終日航海 | ⑦ 午前 レイテ島東方沖洋上慰霊祭 午後 講演 語り部座談会 |
| 9 | 6月11日 (水) | 終日航海 | ⑧ 午前 太平洋沖洋上慰霊祭 午後 講演 語り部：実演 |
| 10 | 6月12日 (木) | 終日航海 | ⑨ 午前 南薩諸島沖洋上慰霊 午後 入国説明会、講演 船長 夕刻 解団式：懇談会 |
| 11 | 6月13日 (金) | 神戸 (日本) | 9時頃入港予定 下船 |

※ 日程案は後日、調整する場合があります。